

## 岡山理科大学図書館報

## りとにゅーす

No.54 2006.11.1

編集・発行 岡山理科大学図書館  
〒700-0005 岡山市理大町1-1  
<http://www.lib.ous.ac.jp>



## ● Contents ●

- ☆世界初の学術情報センター ..... p.1  
ー古代アレクサンドリア図書館ー
- ☆桜田文庫について ..... p.2~3
- ☆業務体験に来てもらいました ..... p.4~5  
ー岡山県立岡山城東高等学校ー
- ☆理科年表プレミアム(Web 版理科年表) 提供開始 ... p.6  
／理科年表プレミアムを使ってみよう！
- ☆お知らせ ..... p.7
- ☆図書館新入職員の紹介、図書館新学生staffの紹介... p.8

## 世界初の学術情報センターー古代アレクサンドリア図書館ー

図書館長／中島 聰

世界史上最大にして最高の図書館と言えばやはりアレクサンドリア図書館であろう。これは、紀元前300年頃、当時のエジプトのファラオ、プトレマイオス1世によって、世界中の学術情報文献を収集することを目的として建てられた図書館である。ここには多くの思想家・科学者の著作、学術書が所蔵され、その蔵書は70万巻にもものぼったとされる。この図書館は、書物の収集のためには万金を費した。例えば多数の写生字を抱えて、組織的に写本を作っていた。当時はまだ印刷技術がなかったため、その蔵書は、ナイル川のデルタで栽培されていたパピルス(学名 *Cyperus papyrus* 現在の紙paperの語源)を原料としたものに手書きされた巻物が中心であった。そしてこの図書館で研究された知識は、その後の西洋の学問・科学の誕生に大きく貢献した。たとえば数学・静力学で有名なあのアルキメデス『原論』でギリシア数学を集約したエウクレイデス、地球の直径を計測したエラトステネス、天動説の集大成『アルマゲスト』を著し千数百年にわたってヨーロッパに影響を持ち続けたプトレマイオスら、古代における学術の巨人たちがこの図書館で研究していたのである。その意味でアレクサンドリア図書館は世界最高の学術情報機関であったのである。さて現在2001年には、ユネスコとエジプト政府が共同で、新アレクサンドリア図書館を建設した。新図書館はコンピュータネットワークを利用して地中海文明に関する文献を収集するという。つまり今日の電子図書館化を推進し、電子媒体情報の収集・蓄積・発信という新しい未来形の図書館へと進化している。

図書館の歴史は、そのスタートより、あらゆる学術情報の宝庫として、人類の文化や社会、科学技術を支える大きな役割を果たしてきたことを物語っている。こんな昔に思いを馳せながら、図書館で一人静かに好きな本を読むのも、時にはよいのではないだろうか。

## ●●●● 桜田文庫について ●●●●

岡山理科大学図書館には、図書の背に「桜田文庫」のラベルが貼ってあるものがあります。これは日本の高分子化学に多大な貢献をされた故櫻田一郎先生（以下、櫻田先生と記す。）が所蔵されていた資料で、櫻田先生が1986年にお亡くなりになられた後、今春退職された高倉孝一先生や遺族らの手によって1991年岡山理科大学図書館に寄贈されました。当初は11号館一階電動書架に桜田文庫としてコーナーを作っていましたが、その後、図書館書架の狭隘化などにより、各所在に分散しました。

桜田文庫については、ご寄贈いただいた翌年1992年「りとにゅーす」No.17にて、ご紹介しましたが、今年は櫻田先生が亡くなられてから20年を迎える節目の年でもありますので、ここで改めてご冥福をお祈りするとともに櫻田先生の業績と桜田文庫を紹介いたします。

### 櫻田一郎先生の略歴と業績について



櫻田一郎先生

櫻田一郎先生は1904年に京都市にてお生まれになりました。

1926年に京都帝国大学工学部工業化学科を卒業された後、1928年から3年間、ドイツのライプチヒ大学およびカイゼル・ウィルヘルム研究所に留学し、セルロース（繊維素）化学を研究されました。

1934年京都帝国大学工学部助教授、翌年教授となり、わが国の高分子化学の発展に先駆的な役割を果たされました。

高分子化学は、本学では工学部バイオ・応用化学科や理学部化学科で教育・研究が行われており、澱粉、セルロース、タンパク質、プラスチックなど、大きな分子でできている物質を扱う化学の分野です。この「高分子」という

日本語を広めたのも櫻田先生です。

櫻田先生は、日本初の合成繊維を完成し、倉敷レイヨン（現、クラレ）より「ビニロン」の名で市場に出されました。当時、日本の基幹産業であった繊維産業が、デュボンの開発した「ナイロン」によって打撃を受けただけに国をあげて合成繊維の開発をしていたそうです。また、櫻田先生は、高分子化学の基礎研究を推進し、多くの門下生を育てました。

櫻田先生は、京都大学では評議員、工学部長を歴任、1967年に退官し、同志社大学教授となりました。また、1961-68年に高分子学会会長を、1967-76年に日本原子力研究所大阪研究所所長、1968年に日本化学会会長を務めるなど日本の化学界の役職も歴任されました。その功績を讃え、1967年日本学士院会員となり、1974年勲二等旭日重光章、1977年文化勲章、1986年従三位勲一等瑞宝章を受章されました。そして、今から20年前1986年6月23日にお亡くなりになりました。

参考文献：「櫻田一郎先生を偲んで」『高分子』第35巻8月号（1986年）p.743-746

朝日新聞1986年6月24日朝刊23p 「桜田一郎氏死去」

## 桜田文庫に収蔵されている図書について



桜田文庫として寄贈された資料は和図書1,362冊、洋図書593冊、他に多数の雑誌のバックナンバーがあります。

その全てを掲載することはできませんので、ここでは、櫻田先生がお書きになったものを中心に、少しご紹介します。桜田文庫のシールが貼られた図書は、化学・応用化学の古典が多く、学生の皆さんが利用できることは少ないと思いますが、高分子化学創世記の世界を覗いてみるのも面白いかもしれません。

### 図書 (単行書)

書 名	著 者 名	出 版 者
化学の小径 (科学随筆文庫:17)	桜田一郎〔ほか〕 著	学生社
化繊の話 (被服科学シリーズ:1)	桜田一郎著	被服科学研究会
高分子化学とともに (紀伊國屋新書:C-24)	桜田一郎 著	紀伊國屋書店
合成繊維	桜田一郎〔ほか〕 編	朝倉書店
合成繊維ハンドブック	桜田一郎〔ほか〕 編	朝倉書店
酢酸ビニル樹脂	桜田一郎著	高分子化学刊行会
繊維物語	桜田一郎, 小西行雄著	理工出版
繊維の科学	桜田一郎, 谷口政勝著	三共出版
繊維のミセル並に分子構造と将来の化学繊維	桜田一郎著	[出版者不明]
戦争と高分子化学	桜田一郎著	高分子化学協会
放射線化学序論	桜田一郎著	日本原子力研究所
ポリビニルアルコール	桜田一郎編	高分子学会
夜の空の星の如く	V.de ザメンホフ著/桜田一郎訳	カニヤ書店
高分子の X線回折. 上	L.A.Alexander著/桜田一郎監訳	化学同人
高分子の X線回折. 下	L.A.Alexander著/桜田一郎監訳	化学同人

■雑誌 'タイトル名' 出版者 【寄贈いただいた巻号】 です。

'Angewandte Makromolekulare Chemie' Huthig & Wepf 【1(1967)–65(1977)】

'Applied Polymer Symposia' Wiley 【1(1965)– 41(1981)】

'Cellulose Chemistry and Technology : Scientific international journal'

Academy of the Socialist Republic of Romania 【1(1967)– 19(1985)】

桜田文庫は、上記のほかにも多数の化学・応用化学の資料があります。

文責：坪井昭訓

# 業務体験に来てもらいました

## 岡山県立岡山城東高等学校



2006年8月18日、台風10号が九州を縦断しているあいにくの天気の中、岡山県立岡山城東高等学校の2年生3名と教員2名の5名にお越しいただき、理大図書館見学・業務体験ツアーが開催されました。その時の様子を紹介します。

今回は、2時半より5時までの短い時間で、情報検索を中心に行いましたので、見学については3館あるうちの11号館のみとなりました。

続いて、貸出や返却の作業を実際に体験していただきました。



大学図書館は、学生の学習や教職員の研究を支援するための図書館ですから、公共図書館や学校図書館よりも情報検索に力を入れています。



城東高等学校からのご希望で、今回は情報検索を体験していただきました。なお、業務体験で情報検索を行ったのは、今回が初めてです。

“SciFinder Scholar” は、化学系データベースとしては世界で最も主要なデータベースで、化合物の情報等を調べることができます。

今回は、「ガムの宣伝で有名なキシリトール (Xylitol) と歯科 (dental)」に関する文献を調べたり、構造式で検索する手順などを体験しました。



一休みした後、雑誌の受け入れ業務の体験です。「雑誌とは…」という説明のあと、端末を使って実際に受入をしました。

…この後、ILLを予定していたのですが、予定の時刻を過ぎていたので、資料をお渡しして、本日の図書館見学・業務体験を終了しました。

続いて、高校生と先生でペアを作って「岡山は晴れの国か？」をテーマに調査しました。

こういう統計は、理科年表を使うと便利です。理科年表は、自然科学における種々の定数・資料を全分野にわたって集約した「自然界の辞典」です。快晴の日が意外と少ないことに驚かれた方もいらっしゃいました。



### 参加者の生徒さんの感想

- ★貸出・返却は分かりやすかったのですが、他は多少難しさを感じました。  
パソコンが上手に使えるようになることが大切（重要）なのだなと思いました。
- ★受入や情報検索などの貴重な体験が出来て、とても楽しかったです。
- ★今まで見たこともないような設備がたくさんあり、とても驚かされました。  
貸出や返却等、学校とは違ったことも、いろいろさせてもらい楽しかったです。

この企画自体まだ2回目で、情報検索の部分は初めてだったので、うまく説明できていたのか不安なところでしたが、アンケートや口頭で、「楽しかった」と言っていただき、館員一同ほっとしました。

## ★★ 高校生の業務体験について ★★

岡山理科大学図書館では、岡山県の大学図書館に先駆けて一般市民への開放を行ってきており、平成13年には岡山県図書館協会で評価・表彰されました。しかし、その利用者の大半は他大学学生と、社会人であり、高校生以下の利用者はほとんどいないため、平成16年度より高校生を対象として、「図書館見学ツアー」「図書館業務体験ツアー」を行っております。

図書館業務体験ツアーでは、上記の城東高等学校で行ったこと以外にも、図書の受入やILLなどの体験ができます。体験の内容や時間は、高校の先生と相談の上、決めています。

学校単位でのみの参加ですが、現在、参加される学校を募っております。



## 理科年表プレミアム（Web版理科年表）提供開始

国立天文台が編纂する「理科年表」をインターネット上でより使いやすく、活用できるように、「理科年表オフィシャルサイト」が7月に開設されました。それに伴い、本学でも7月より利用できるようになりました。

理科年表は、大正14年、理科学生のためのデータ集として創刊以来、多くの研究者の協力で科学諸分野のデータを加え、年毎に更新増補され現在でも広範な自然科学の情報を網羅した世界唯一のデータブックとして、教科書や科学記事の基礎資料を提供するなど社会の高い信頼を得ており、高校・大学の先生、設計技師や工場で働く技術者にも広く支持されてきました。

理科年表プレミアムは、この理科年表に掲載された大正14年の創刊から最新版までの膨大なデータを掲載したWeb版で、内容は、暦部、天文部、気象部、物理／化学部、地学部、生物部、環境部の7部門にわたっています。この広範なジャンルから約15,000項目におよぶ図表データに簡単にアクセスすることができます。

また、全ての表データがCSV形式でダウンロードでき、保存したデータは、お手持ちの表計算ソフトで並べ替え、抽出、計算、グラフ化などさまざまな加工、編集が行え、オリジナルデータを創作することができますので、資料、レポート作成などのツールとして、またデータソースのアーカイブとして大変役立つ情報サイトです。

「理科年表プレミアム」は利用料金を図書館で負担していますので、学内LAN(OUS-NET)に接続されているPCであれば、Webブラウザより利用できます。図書館ホームページのトップページの「電子図書館」か「外部データベース検索」ページにある理科年表プレミアムのリンクよりアクセスし、[Login]と書かれたボタンをクリックすると検索画面となります。目次・索引からリンクをたどる、あるいはキーワードで検索することができます。

### 理科年表プレミアムを使ってみよう！

『「理科年表プレミアム」って、どんなやつだろう？』って興味をもった、そこの貴方！！「理科年表プレミアム」を使って問題を解いてみませんか。なお、「理科年表プレミアム」の使い方が分からなかったら図書館の職員までお訊ねください。

**Q. 近頃、冥王星が惑星かどうかという論争になった要因の一つに、観測技術の発展により、冥王星の大きさが発見当時予想されていたものよりも、かなり小さいことが分かったことがあげられますが、冥王星の大きさのデータはどのように変化していったのでしょうか。調べてみましょう。**

(単位：km)

理科年表の年	1960年	1970年	1980年	1990年	2000年	2006年
赤道半径（冥王星）						
赤道半径（地球）	6378	6378	6378	6378	6378	6378

(答えは、p.8 をご覧ください。)

### 版や発行年に注意しましょう。

書店と異なり、図書館には、現在、流通していない図書が数多く所蔵されています。その中には、上記の冥王星の大きさのように、その後の科学・技術の進歩により、現在では、データや内容が正確とは言えない記述が一部、含まれるものもあります。また、中学校や高校で使われる教科書や六法全書のような法律書については、指導要領や法律が改訂されても、前の版のものも置いてあります。これは図書館の本質上、やむを得ない面もあります。

そのため、資料を使う際には、背や表紙の版・奥付や標題紙に書かれた発行年なども参考にし、第2版と第3版があったら、第3版を使ったり、2005年版と2006年版があったら、2006年版を使うなど、版や発行年に注意して最新のものをお使いください。

## お知らせ

### 図書の移動とコーナーの新設について

#### ■ 11号館 1階Fコーナーについて



11号館 3階一般書架の冊子体の理科年表 [403.3/To] について、最新年と過去の机上版を各年 1冊ずつ残し、それ以外を11号館1階 “Fコーナー” に移動しました。

図書の背にFシールが貼ってあります。

#### ■ 11号館 1階Gコーナーについて



11号館 2階・3階の和図書のうち、比較的利用頻度の低いものを、11号館 1階 “Gコーナー” (分類番号409～547.29) に移動しました。

図書の背にGシールが貼ってあります。

#### ■ 語学系図書の移動について

10号館図書館に配架されていた語学系の和・洋図書（分類番号800～899）を、21号館図書館に移動し、既存語学和・洋図書と混配しました。

#### ■ 化学書資料館（デジタル図書閲覧サイト）提供開始

デジタル図書閲覧サイト「化学書資料館」は、日本化学会編集の実験化学講座、化学便覧、標準化学用語辞典がインターネットを通して閲覧できるサービスで、7月に開設されました。

レポート・論文作成の情報検索ツール及び研究者のサポートツールとして化学知識の総合サイトを目指したサービスです。

7月から「化学書資料館」は、学内LAN(OUS-NET)に接続されているPCであれば、Webブラウザより利用できます。

図書館HPのトップページの「電子図書館」の項目に「化学書資料館」を追加しました。また、「外部データベース検索」ページにも「化学書資料館」のリンクの追加を行いましたのでご利用ください。

### 10号館特別閲覧室について



#### ■ 10号館特別閲覧室は、今年度より10号館2階から3階に移りました。

10号館 3階特別閲覧室は、ホワイトボードやエアコンも完備されているため、より快適にグループ学習や、ミーティング等、さまざまな目的でご利用いただくことができます。利用を希望される場合は、10号館カウンターで申し込みをしてください。

## 図書館新入職員の紹介

今年4月の人事異動で、新しく岡山理科大学図書館に配属となった1名を紹介します



こんにちは。4月から図書館に勤務することとなりました加計典之です。私の毎日の楽しみはスカイテラスに立ち、澄んだ空気を胸にいっぱい吸い、薫風を頬に受けながら眼下の市街を静かに眺めることです。豊かな自然と調和したこの学園での日々は、学生の皆さんにとっても非常に恵まれた環境ではないかと思います。図書館は夜も開館しています。『徒然草』の一節にある、「ひとり燈のもとに文をひろげてみぬ世の人を友とする」そんな感性を磨いて、更に豊かなものにしていて下さい。

## 図書館新学生staffの紹介

この4月から図書館で学生staffをしてくれている3名を紹介します。

- ①学部・学科・学年、研究科・専攻・学年 ②どうして図書館でアルバイトをしようと思いましたか？  
③アルバイトをしてみてどうですか？ ④何か一言（自由に書いてください）

- ①大学院 総合情報研究科 数理・環境システム専攻 1年  
②同じ研究室の後輩に紹介してもらって始めました。  
③書架整理をして、今までにふれることがなかった分野の本にふれられる機会ができたのが良いです。  
④本は大切にね！



- ①大学院 理学研究科 総合理学専攻 1年  
②研究室にいる時間が増えたため、学内でできるアルバイトに魅力を感じました。4年生のときに図書館に行く頻度が増えたのも要因のひとつですね。  
③図書館により興味と関心がわきました。今更なんですが、本当にたくさんの本があります。古い雑誌が製本されているのもステキですね。  
④れつつ図書館！

- ①理学部 化学科 2年  
②本に囲まれて仕事をしてみたかったからです。  
③書架整理や本の返却処理をしていると様々な種類の本に出会うことができ、非常に興味をそそられます。  
④図書館で映画のDVDがみられることを知っていますか。本はもちろんのこと、もっと図書館を利用してみてください。



### p.6 「理科年表プレミアムを使ってみよう」の答え

(単位：km)

理科年表の年	1960年	1970年	1980年	1990年	2000年	2006年
赤道半径（冥王星）	7200	3200	2000>	1142	1137	1195

調べ方は、岡山理科大学図書館ホームページ「りとにゅーす」のページに掲載しています。

URL = <http://www.lib.ous.ac.jp/ritonews.html>